

経営比較分析表（令和6年度決算）

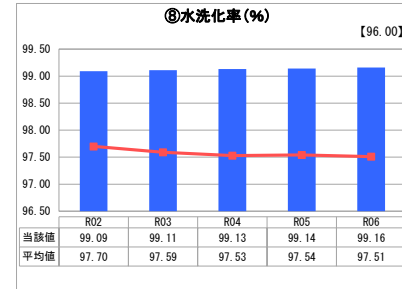
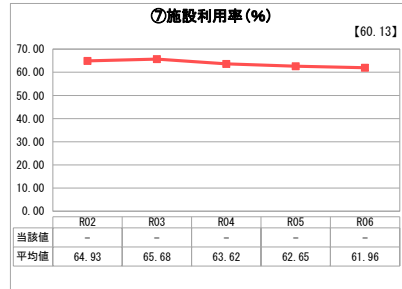
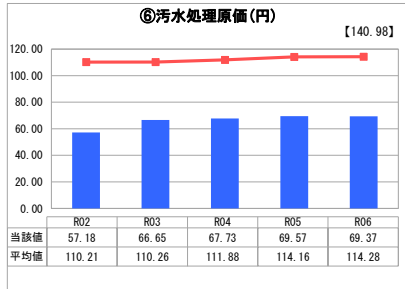
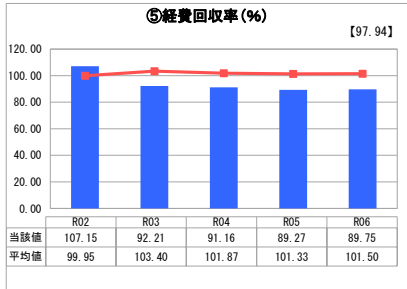
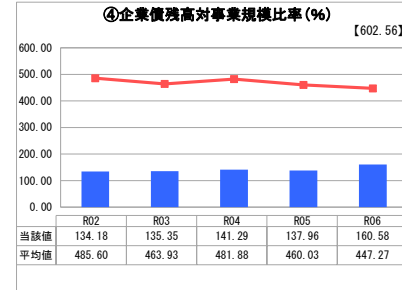
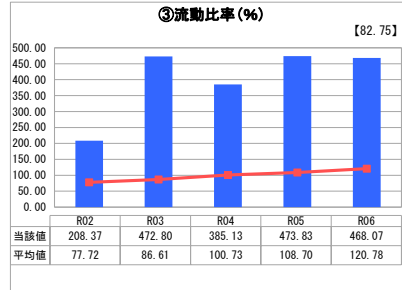
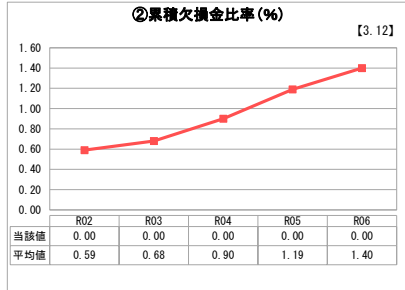
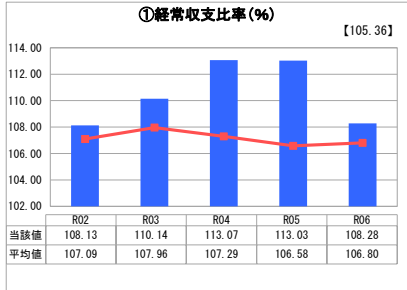
埼玉県 朝霞市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Aa	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	80.77	97.97	82.70	1,155

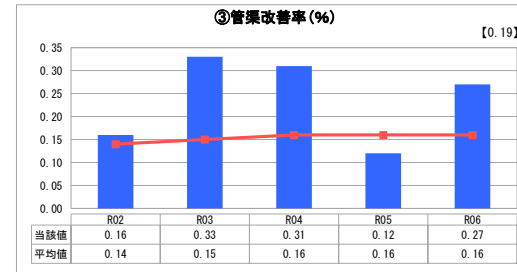
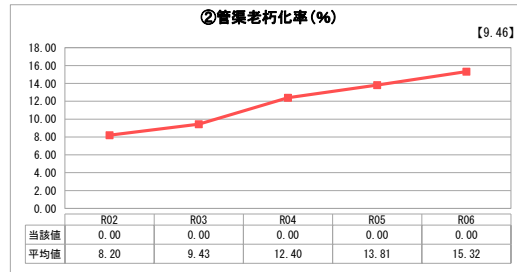
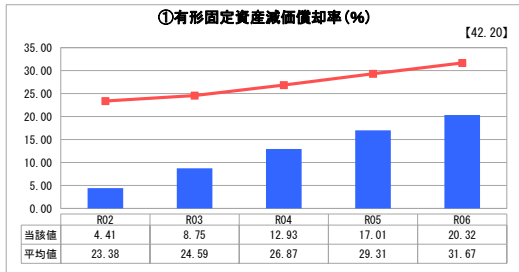
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
145,938	18.34	7,957.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
143,021	11.02	12,978.31

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析概

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を超えており健全な状態と言えるが、財源の一部は一般会計からの繰入金で補っている状況である。
 ② 流動比率は昨年度に引き続き200%を上回っており、一年以内に支払わなければならない債務に対して十分な支払能力を有している。
 ③ 企業債残高対事業規模比率は、企業債の発行額が増加傾向であるものの、多くは雨水対策関連（一般会計負担分）であることから、横ばいで推移している。
 ④ 汚水処理原価は類似団体平均を下回っており、効率的な経営ができていると言えるが、⑤ 経費回収率は100%を下回っており、汚水処理に係る費用を使用料収入で賄っていないため、適正な使用料収入を確保する必要がある。
 ※決算統計の報告数値に誤りがあり、⑤ 経費回収率は「89.47」⑥ 汚水処理原価は「69.59」が正しい。
 ⑥ 水洗化率は、類似団体平均値や全国平均を上回っているが、未接続世帯の減少を図るため、今後も継続的に啓発活動を行っていく。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあり、類似団体平均や全国平均よりは低い値で推移しているが、これは法適用前年に減価償却された資産が累計額として計上されていないことによるもので、供用開始から40年以上が経過し老朽化は進んでいる。本市では、ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の計画的な改修、更新を行っており、③ 管渠改善率は類似団体平均を上回る水準となっている。

全体総括

全体の指標としては健全な経営状況と言えるが、経費回収率が100%を下回っており、一般会計からの基準外繰入金で補っている状況である。
 なお、昨今の物価高騰や令和7年度からの流域下水道維持管理負担金の改定など、経営状況の悪化が懸念されるため、令和8年度から使用料の改定を行い、基準外繰入金の解消と、経費回収率の改善を図られる見込みであるが、引き続き適切な管理運営と経費の削減に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。